

# MATCH DAY PROGRAM



第4節

**3.16** SAT  
14:00 Kick Off  
VS FC今治

32

FW 32 KOKI MATSUMURA

**松村 航希**



# Y.S.C.C. PLAYERS

<b>1 GK</b>  Ryosuke SAGAWA <b>佐川 亮介</b> 1993.7.17 出身地：東京都 前所属：拓殖大	<b>2 DF</b>  Minoru HANAFUSA <b>花房 稔</b> 1996.7.30 出身地：東京都 前所属：国士館大	<b>3 DF</b>  Takuya FUJIWARA <b>藤原 拓也</b> 1992.12.18 出身地：徳島県 前所属：ガイナレ鳥取	<b>4 MF</b>  Kento DODATE <b>土館 賢人</b> 1992.8.23 出身地：神奈川県 前所属：いわてグルージャ盛岡	<b>5 DF</b>  Haruki OSHIMA <b>大嶋 春樹</b> 2000.7.11 出身地：兵庫県 前所属：中京大	<b>6 MF</b>  Diego TABA <b>田場 ティエゴ</b> 1996.5.31 出身地：神奈川県 前所属：国士館大	<b>7 MF</b>  Atsushi KIKUTANI <b>菊谷 篤資</b> 1997.6.18 出身地：千葉県 前所属：FCバイエルンアルヴェナウ	<b>8 MF</b>  Yutaro YANAGI <b>柳 雄太郎</b> 1995.9.18 出身地：千葉県 前所属：明海大
<b>9 FW</b>  Yusei KAYANUMA <b>萱沼 優聖</b> 1993.8.6 出身地：山梨県 前所属：ヴァンラーレ八戸	<b>10 MF</b>  Ryota YAMAMOTO <b>山本 凌太郎</b> 1998.12.7 出身地：千葉県 前所属：横浜FC	<b>11 FW</b>  Jorn PEDERSEN <b>ピーダーセン世稔</b> 1997.12.12 出身地：東京都 前所属：慶應義塾大	<b>13 FW</b>  Lueman HAKIM <b>ルクマン ハキム</b> 2002.3.5 出身地：マレーシア 前所属：KVコルトレイク	<b>14 MF</b>  Ryohki WAKIZAKA <b>脇坂 峻平</b> 1998.12.27 出身地：神奈川県 前所属：新潟医療福祉大	<b>15 MF</b>  Yasuto FUJITA <b>富士田 康人</b> 2000.12.16 出身地：福岡県 前所属：日本体育大	<b>16 GK</b>  Jun KODAMA <b>児玉 潤</b> 1997.9.8 出身地：東京都 前所属：福山シティFC	<b>17 DF</b>  Takuma HASHINO <b>端野 拓馬</b> 2002.2.18 出身地：神奈川県 前所属：上武大
<b>18 MF</b>  Jukiya FUJISHIMA <b>藤島 樹騎也</b> 1996.8.26 出身地：三重県 前所属：FCマルヤス岡崎	<b>19 DF</b>  Shawn VANEERDEN <b>ヴァンイヤーデン ショーン</b> 2004.4.16 出身地：神奈川県 前所属：横浜FC	<b>20 MF</b>  Yusei OTAKE <b>大竹 悠聖</b> 2000.7.13 出身地：熊本県 前所属：桐蔭横浜大	<b>22 MF</b>  yushin OTAKE <b>大竹 優心</b> 2005.7.17 出身地：新潟県 前所属：アルビレックス新潟	<b>23 MF</b>  Hiroto DOMOTO <b>道本 大飛</b> 1998.12.6 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	<b>25 DF</b>  Shunta NISHIYAMA <b>西山 峻太</b> 1989.7.25 出身地：神奈川県 前所属：国士館大	<b>26 DF</b>  Hiroto OKOSHI <b>大越 寛人</b> 2000.9.19 出身地：埼玉県 前所属：桐蔭横浜大	<b>27 DF</b>  Wataru YAMAKURA <b>山倉 渉</b> 2005.7.17 出身地：東京都 前所属：アルビレックス新潟U-18
<b>28 FW</b>  Gbevegnon HIDAKA Alexandre <b>ベベニョン 日高 アレクサンドル</b> 2000.4.9 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	<b>30 MF</b>  Shuto KOJIMA <b>小島 秀仁</b> 1992.7.30 出身地：栃木県 前所属：ジェフユナイテッド千葉	<b>31 GK</b>  Michiya OKAMOTO <b>岡本 享也</b> 1995.5.17 出身地：神奈川県 前所属：FC岐阜	<b>32 FW</b>  Koki MATSUMURA <b>松村 航希</b> 1996.5.24 出身地：兵庫県 前所属：藤枝MYFC	<b>33 MF</b>  Rikuto HISHIMOTO <b>橋本 陸斗</b> 2005.4.2 出身地：東京都 前所属：東京ヴェルディ	<b>39 MF</b>  Koji OKUMURA <b>奥村 晃司</b> 1998.7.29 出身地：埼玉県 前所属：ザスパクサツ群馬	<b>50 MF</b>  Takahiro NAKAZATO <b>中里 崇宏</b> 1990.3.29 出身地：東京都 前所属：錦旗ポイントゲッターズ	<b>67 FW</b>  ONYE OGOCHUKWU PROMISE <b>オニエ オゴチュクワ プロミス</b> 2002.3.13 出身地：ナイジェリア 前所属：高知中央高校

## MATCH PREVIEW

### ニッパツに歓喜を！いざ、3連勝中の今治討ちへ…

3戦勝ちなし対3連勝——。対照的なスタートを切った両チームがニッパツ三ツ沢球技場で相まみえる。6日に行われたJリーグYBCルヴァンカップ1stラウンド1回戦で水戸相手に大金星を挙げたYS横浜は前節、勢いそのままに松本とのアウェイゲームに挑んだ。49分に山本 凌太郎のゴールで先制するも、サンプロアルウインのサポーターによる圧倒的な後押しに屈し、79分に失点。1-1のドローとなった。

倉貫 一毅監督は試合後に「勝たなかったのが本音」とこぼしつつも、「勝点1をしっかりと持ち帰れたということは、そこまで悪いとは思っていない」と話した。勝点を少しでも積み上げていきたい方向性を踏まえれば、2分1敗という成績をネガティブに捉え過ぎる必要はないかもしれない。

対する2位・今治は開幕から3連勝中。前節・沼津戦は近藤 高虎の1点を守り切った。今節は15位のYS横浜が相手。もちろん狙うはアウェイでの白星だ。ここまで1失点という堅守を変わず見せていきたい。

ピックアッププレイヤーはピーダーセン 世稔。開幕から公式戦3試合で途中出場が続いていた中、前節の松本戦で遂に先発を奪取。「アシストという結果は残せましたけど、FWとしてはゴールを取りたかったです」と、山本の先制点をお膳立て。数字としても結果を残し、今後の先発争いへアピールに成功した。本人としても待望の得点へ「この勝点1を価値あるものにする為にも来週の試合に全力で臨みたい」と、気を吐いている。

ホーム開幕2連戦で白星を飾れなかったYS。サポーターが待ちわぶるのは勝利のみ。ニッパツに歓喜をもたらすことはできるか。





# FC今治

監督：服部 年宏

# TODAY'S EVENT

12:40~13:20

## 選手サイン会

【場所】ホームゴール裏



●参加選手は当日のお知らせになります

13:15頃

## サインボール投げ

【場所】メインスタンド・ホームゴール裏



ピッチ内アップ入場時に選手がサインボールを投げ込みます

試合終了後

## LTO活動

【場所】総合受付所横のLTO特設ブース



ホームゲーム終了後に、ニッパツ三ツ沢球技場周辺でゴミ拾いを行います。

## 前節の結果



第3節 2024年3月9日(土)  
14:00ko 松本山雅FC



得点者：山本凌太郎



1-1



## 順位表

第3節終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点
1	F C大阪	9	3	3	0	0	10	3
2	<b>F C今治</b>	<b>9</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>1</b>
3	S C相模原	7	3	2	1	0	3	1
4	アスクラロ沼津	6	3	2	0	1	7	1
5	大宮アルディージャ	6	2	2	0	0	5	1
6	F C岐阜	6	3	2	0	1	8	5
7	松本山雅F C	5	3	1	2	0	5	4
8	F C琉球	4	2	1	1	0	4	3
9	カタレ富山	3	3	0	3	0	2	2
10	福島ユナイテッドF C	3	2	1	0	1	3	5
11	いわてグルージャ盛岡	2	2	0	2	0	2	2
12	カマタマーレ讃岐	2	3	0	2	1	4	5
13	A C長野パルセイロ	2	3	0	2	1	3	4
13	奈良クラブ	2	3	0	2	1	3	4
15	<b>Y.S.C.C.</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>
16	ギラヴァンツ北九州	1	2	0	1	1	1	2
17	テゲバジャーロ宮崎	1	3	0	1	2	3	5
18	ガイナレ鳥取	1	3	0	1	2	1	6
18	ヴァンラーレ八戸	0	2	0	0	2	1	5
20	ツエーゲン金沢	0	3	0	0	3	3	12

## ホームゴール裏

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.s.c.c. YOKOHAMA

**あぶり屋**

フランクフルト	¥600	ポテト	¥400
から揚げ (大)	¥1,000	ビール	¥500
から揚げ (小)	¥600	他アルコール	¥500
牛カルピス	¥800		
タン塩串	¥800		

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.s.c.c. YOKOHAMA

**Hey!Riccio**

バターチキンカレー	¥1,000	ハイボール	¥700
キーマカレー	¥900	レモンサワー	¥700
あいがけカレー	¥1,100	チャイ	¥500
大盛り	+¥80円	ラッシー	¥500
目玉焼き	+¥100円	レモンスカッシュ	¥500

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.s.c.c. YOKOHAMA

**ヤマダイニング**

オムライス各種	¥850~1,000	コーヒー	¥350
ふわふわポテト	¥600~650	ココア	¥350
カラーチョコス	¥400	ラムネ	¥300
餃子ドッグ	¥500		

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.s.c.c. YOKOHAMA

**EHIMEみきゃんずキッチン**

今治焼豚玉子飯	¥800	まるごとみかんサワー	¥1,000
蛇口からみかんジュース	¥500	みきゃんクレープ	¥400
ジャコカツ	¥400	シトラスナップス各種	¥700
冷凍あかん	¥500	みかんゼリー	¥450

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.s.c.c. YOKOHAMA

**Loco Kitchen**

モコモコチキンライス	¥800	ロコモコ	¥850
モコモコチキン丼	¥600	ナチョス	¥600
ガーリックシュリンプライス	¥850	スペシャルプレート	¥1,350
ガーリックシュリンプ丼	¥650	おつまみプレート	¥1,200

## メインコンコース

### 横浜食品



### 横濱蔵出し



お土産や観戦中でも食べやすい  
スティックチーズケーキ!!!

# GOODS INFOMETION

**Y.S.C.C. 選手缶バッジ 2024**

全31選手 1回300円

HONMOKU Y.s.c.c. YOKOHAMA

**Y.S.C.C. アクリルキーホルダー ガチャ**

グッズ売店に設置 全32選手 1回 500円

**Y.S.C.C. YOKOHAMA タオルマフラー**

1,650円

**ツインメガホン 1,400円**

**Y.S.C.C. フラッグLサイズ 2,900円**



一第4節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**3.16** 土  
vs FC今治 14:00kick off

一第8節 AWAY  
Pikaraスタジアム  
**4.7** 日  
vs カタマール園城 14:00kick off

一第12節 AWAY  
ミクニワールドスタジアム北九州  
**5.3** 金・祭  
vs ギラヴァンツ北九州 14:00kick off

一第16節 AWAY  
長野Uスタジアム  
**6.8** 土  
vs AC長野パルセイロ 18:00kick off

一第1節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**2.25** 日  
vs カターレ富山 14:00kick off

一第5節 AWAY  
タピック黒鷲ひやこんスタジアム  
**3.20** 水・祭  
vs FC琉球 15:00kick off

一第9節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**4.10** 水  
vs 大宮アルディージャ 19:00kick off

一第13節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**5.6** 月・祭  
vs SC相模原 14:00kick off

一第17節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**6.15** 土  
vs FC岐阜 18:00kick off

一第2節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**3.3** 日  
vs FC大阪 14:00kick off

一第6節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**3.24** 日  
vs ガイナーレ鳥取 14:00kick off

一第10節 AWAY  
金沢ゴージャススタジアム  
**4.14** 日  
vs ツエーゲン金沢 14:00kick off

一第14節 AWAY  
いわぎんスタジアム  
**5.18** 土  
vs いわてグルージャ盛岡 14:00kick off

一第18節 AWAY  
プライフーズスタジアム  
**6.23** 日  
vs ヴァンラーレ八戸 14:00kick off

一第3節 AWAY  
サンプロアルウィン  
**3.9** 土  
vs 松本山雅FC 14:00kick off

一第7節 AWAY  
とうほう・みんなのスタジアム  
**3.31** 日  
vs 福島ユナイテッドFC 14:00kick off

一第11節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**4.27** 土  
vs 奈良クラブ 14:00kick off

一第15節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**6.2** 日  
vs テグバジャー口宮崎 14:00kick off

一第19節 HOME  
ニッパツ三ツ沢球技場  
**6.29** 土  
vs アスクラロ沼津 18:00kick off

**NEXT GAME**  **AWAY** **3.20 WED 15:00ko** vs FC琉球 

## 横濱フットボール今昔～唐井直SFP～

Jリーグが未だなかった37年前。  
中区スポーツ少年団から育った若者たちが横濱の地に小さな種を播きました。それから37年間、横浜スポーツ&カルチャークラブ（Y.S.C.C.）は町クラブとして歩みを進め、2014年には新たに創られたJ3創設メンバーとしてプロリーグ参入を果たし、本年11年目の節目を迎えました。  
Y.S.C.C.創設に関わった一人の私は、一旦は、サッカー界を離れましたが、その後Jリーグ設立と共にプロサッカークラブの強化担当、GMとして清水エスパルス、ヴェルディ川崎（東京ヴェルディ）、ジェフユナイテッド千葉、FC町田ゼルビアで経験を積み、今般Y.S.C.C.に戻って参りました。  
フットボールと共に生きる年長者（Senior Football People）としてホームゲーム毎に、フットボールにいま、むかしを綴ります。

### 3月16日（土）今治戦 自立

本日の対戦相手は、岡田武史さんがオーナーを務める今治。  
昨年は、里山スタジアムのこけら落とし。アウェイ戦で訪れた際には、岡田さんのご子息にスタジアムを案内していただき、収容人員こそ、五千人余とこじんまりとしているものの、ライティングで選手諸君の高揚感を高め、ピッチに出て行く、ロッカールームからの導線と、VIPシートの設えなど、オーナーの思いのこもった設備を見せて頂いた。  
スタジアム敷地内には、ドッグランも備え、回遊型の遊歩道に囲まれ、野菜を作る畑も備え（これは、選手寮や場内のレストランで供される）とまさに地域の皆さんが日常的に訪れる仕掛けに満ちて、エコロジーにも配慮した、岡田さんらしい、幅広い知見、問題意識に基づいた設計、建付けであった。  
カフェテリアには岡田オーナーも店番に立つことがあるという。  
見学途中スタジアム内のフロントの事務所は土足禁止で、スリッパははずし、オーナーに直接「土禁」と叱られてしまったのはご愛敬でした。  
今年4月にはユニークな教育方針を掲げて、FC今治高等学校里山校の開校と、地域創生の大きな役割を期待されて、スタートしたFC今治のプロジェクトも、ついに学校教育にも手を染めることになった。  
自立を掲げ、教員採用に当たっては岡田さんが全教員と面談をして、「教えることはだめです」という投げかけから始めたという。  
生徒諸君は、3年時には、町のご家庭にホームステイして、1、2年時の午後には校外に出て育んだ社会との繋がりや活動の仕上げをするという。  
教員の働き方改革、中学校の部活の民営化などなど、従来、学校教育が先生方の時間外のハードワークでカバーしてきた課外活動。その在り方も大きく様変わりしようとしている。  
現在、子供たち、生徒たちの課外活動の在り方、それを支える大人たちの関わり方が議論されている。岡田さんの取り組みは、偏差値教育に毒された、従来の、「正解」がある教育から、まさに、「課題解決」のピッチの上では、予測不能なことが起きて、それへの瞬時の対応能力が問われるフットボールでは、当たり前のこと。正解がないフットボール。人生にも正解がない。  
日本代表の戦いでも、「自立」が謳われている。自立と調和の融合。  
私たち、地域に根ざしたクラブ、Y.S.C.C.としても、小学校の学童保育（放課後キッズクラブ）への関わりは、地元本牧出身のフロントスタッフ吉野裕太郎さん（96年生まれ、YSアカデミー出身、元トップチーム選手）を中心にピーダーを始めとする選手諸君の協力もあって地道に続けている。  
国家的な課題でもある、シニアの健康寿命の延伸を促す活動など、地域に生きるクラブとしての価値は、地域の皆さんと共に作り上げていくもの。  
それこそが、Jリーグ創設の理念でもあり、それは、「シャレン」として世界的に誇れる実績、価値観となっている。

